

ユニセフのボランティア活動 始めませんか!

岐阜県ユニセフ協会では、ボランティアが中心になって、主に下記の活動を行っています。ご希望の方はご連絡ください。

- ①募金の受付
- ②視聴覚教材の貸出し
 - ・ユニセフ視聴覚ライブラリー(DVD、ビデオ)
 - ・ユニセフ写真パネル
 - ・展示ツール(水がめ、地雷レプリカ、経口補水塩、マラリア予防蚊帳、ワクチン保冷ボックス、など)
- ③学習会・報告会・地域へ出向いてのイベントの実施
- ④学習講師の派遣(出前学習など)
- ⑤「ユニセフ支援ギフト」・募金活動
- ⑥11月～12月の「ユニセフ・ハンド・イン・ハンド」での街頭募金活動

ボランティア活動に興味のある方は

※まず、事務局(058-379-1781)にご連絡下さい!!
ユニセフのボランティア活動について説明をいたします。ご登録(登録用紙)いただきますと、事務局からニュースなどで今後の活動予定をお知らせします。ご都合の良い催しからご参加下さい。

※ボランティアの手引き・登録用紙はコチラから
⇒ <http://unicef-gifu.jp/>

賛助会員として、ユニセフを応援

(公財)日本ユニセフ協会を年会費によってご支援いただく方法。(岐阜県ユニセフ協会の運営費は、日本ユニセフ協会によって賄われています。)

種 類	対 象	会 費	期 間
一 般	個 人	1口5千円	入会月～1年
学 生	18歳以上の学生の方	1口2千円	入会月～1年
団体賛助会員	団体、法人、企業	1口10万円	入会月～1年

※賛助会費は寄付金控除の対象になります。

2014年度の賛助会員数(8月現在)

団体会員 10件
個人会員 184件
学生会員 1件

2014年度のボランティア登録数 個人35名

周年企画「子どもの広場」ボランティアとして、日本ボーイスカウト岐阜県連盟・岐阜市協議会、ガールスカウト岐阜県連盟、学校生協、岐阜市日赤奉仕団岩野田北分団

大切なお知らせです

日頃より世界の子どもたちのために、ユニセフへのあたたかいご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

この度、ユニセフのカードとギフト(グッズ)事業について、下記のとおり変更することとなりましたことを慎んでお知らせ申し上げます。

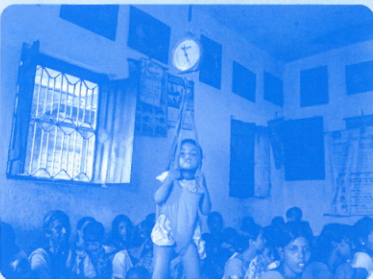
●ユニセフ自身によるカードやグッズの製作・頒布の終了
これまでユニセフ本部自身がユニセフカードとギフト(グッズ)の製作・頒布を行ってまいりましたが、この方式は本年2014年末を以って終了致します。これに伴い、当協会を通じたユニセフカードやグッズの頒布、お申込み受付も、本年末を以って終了致します。なお、「ユニセフ支援ギフト」募金事業は来年以降も継続して行います。

今年で最後となりますユニセフ・オリジナルのカードやグッズ。最後の機会になります。多くの方のご利用を願っております。

2014年秋
(公財)日本ユニセフ協会 会長 赤松良子



ユニセフ支援物資
UNICEF/NYHQ2013-0585/Halabi



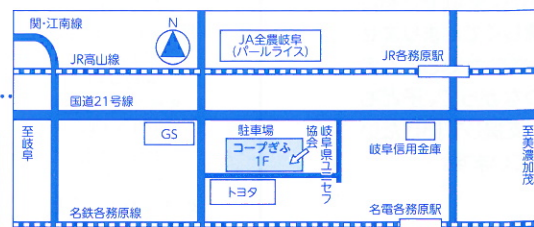
赤ちゃん体重計 ¥3,700
UNICEF/INDA2012-00545/Singh

お気軽にお立ちより下さい!

岐阜県ユニセフ協会

〒509-0197 岐阜県各務原市鷺沼各務原町1-4-1
生活協同組合コープぎふ 1 階

★交通★
JR高山線
各務原駅下車(普通のり停車)西へ徒歩8分
名鉄犬山線
名電各務原駅下車(急行停車)西へ徒歩8分



ユニセフ通信

2014 秋・冬号 Vol 6 号

unite for children

unicef

(公財)日本ユニセフ協会協定地域組織
岐阜県ユニセフ協会
〒509-0197 岐阜県各務原市鷺沼各務原町1-4-1
生活協同組合コープぎふ1階
☎ 058-379-1781 Fax 058-379-1782
E-mail: gifuken@unicef-gifu.jp
<http://unicef-gifu.jp/>

「インドを知ろう!」ーインド女子教育指定募金についてー

インドの人的資本

インドは世界で最も若い国のひとつであり、2025年には年齢中央値が25歳に

インドでは世界で最も科学・技術分野の人的資源が多い国

他の先進国が高齢化する中、インドは若年化

インドの人口ピラミッド



国 名	人口(2011年)	18歳未満人口比率(2011年)	人口(2050年)	1人あたりのGNI(2011年)
インド	1,241,492,000	36.1%	1,620,050,000	\$1,410
中 国	1,347,565,000	23.5%	1,384,976,000	\$4,930
日 本	126,497,000	16.1%	108,329,000	\$45,180

ユニセフ・インドの事業概要



生活協同組合コープぎふ 専務理事 佐藤圭三

私たちのための取り組みとして、募金活動に取り組んでいきます。
8月4日、岐阜市で開催された「インドを知ろう!」講演会に参加し、今回の指定募金に取り組む主旨を学びました。直接的な目的はインドの女子児童の教育環境の改善に置きながら、実は5000年間も続いたカースト制度からインド国民を解放し、インドの発展を通じて全世界的に持続可能な社会づくりにつなげていく、非常に戦略性の高い取り組みであることに胸を打たれました。コープぎふも、分かりやすいお知らせに心がけ、通年の取り組みとして応援していきます。

インドの子どもの状況:栄養状態

- ◆発育不良(低身長): 5歳以下の児童の約2人に1人
- ◆貧血: 1～5歳の児童の10人に7人
- ◆低体重の新生児:約740万人/年



インドの基礎教育の状況

- ◆810万人の子どもが修学していない
その内都部の子どもは670万人である
- ◆2000万人の子どもが定期的に学校に通っていない
- ◆8年生になる前に国全体で48.8%が退学する
- ◆8年生になる前に55.2%の低カーストの子どもが退学する
- ◆2015年までに120万人の教育に研修が必要である
- ◆女子の就学率は男子よりも8.8%低い
- ◆54%の学校しか女子トイレを持っていない

支援要請事業:すべての子に教育を! 男女格差を是正する

- ◆「無償義務教育に関する子どもの権利法」の促進を通じて、子どもへの教育、特に女子教育を促進する
- ◆3州(アッサム州、チャッティスガル州、西ベンガル州)の男女差の大きい、それぞれ1地域を支援する
- ◆被差別の子どもたち(指定カースト、指定部族、後進諸階級)を支援する
- ◆子どもに優しい学校の事業を推進する
- ◆女の子の退学の理由や通学しない理由を分析し、対策を立てる

The Right of Children to Free and Compulsory Education ACT, 2009 (= 無償義務教育に関する子どもの権利法)の内容

- ◆6歳から14歳の全ての子ども(カーストや性別等に関係なく)が教育を受ける権利がある
- ◆小学校では30人の児童に1人の教師、中学校では35人の生徒に1人の教師が配属される
- ◆学校は子どもに優しい環境とする
- ◆効果的な教育方法や教材が作成され、子どもの学びを促進する
- ◆安全な水、男女別のトイレ、図書館、グラウンドのある学校を作る
- ◆学校運営委員会を作り、学校運営や運営のチェックに親が関わりやすいようにする

(8月4日(火)日本ユニセフ協会・三上健氏の講演会資料より抜粋)

全岐阜県生活協同組合連合会 専務理事 河原洋之

全岐阜県生活協同組合連合会は、岐阜県内の7つの生協(コープぎふ・岐阜県学校生協・岐阜大学生協・岐阜県労済生協・岐阜短生協・西濃医療生協・ぷちとまと)が加盟している連合会です。生協は以前からユニセフに取り組んできましたが、岐阜県ユニセフ協会が設立されより活発に取り組めるようになりました。今後も世界のこどもたちのために活動していきます。

役員メッセージ (敬称略)



岐阜県信用金庫協会
会長 高橋 征利

日頃から岐阜県ユニセフ協会の活動にご尽力いただいている皆様に、感謝申し上げます。私どもは、今年、信用金庫の店頭ロビーで「ユニセフ・パネル展」を開催し、その内容を多くの方々にご紹介いたしました。

今後とも、地域の金融機関としてこのような活動を通じてユニセフ活動にご協力していきたいと考えております。



(公財)岐阜県国際交流センター
専務理事 古田 常道

私ども(公財)岐阜県国際交流センターは、地域に根ざした国際交流拠点として、岐阜県の豊かな自然環境、文化、歴史、その他の資源を活かした国際交流活動を通じて、多文化共生社会の実現を図るとともに、諸外国との相互理解と友好親善に寄与することを目的としています。岐阜県ユニセフ協会が「世界の子どもの笑顔のために」実施する社会づくり活動にも協力して参ります。



岐阜県公立幼稚園長会
会長 藤村 美保子

岐阜県公立幼稚園66園は、心豊かでたくましく生きる子を願い、県内各地域において幼児の教育や保護者の子育て支援などに、真摯に取り組んでおります。

ユニセフとの関わりは深くありませんが、ポスター掲示や保護者への紹介などにより、存在や活動を知っていただく機会としています。本当に微力ですが、次に繋がる支援となることを願って。



岐阜県小中学校長会
会長 矢嶋 英敏

教科書に載っていた話です。医師から「1週間後にもう一度来て」と言われたネパールの男性が、「できません」と答えました。自宅に帰るだけで1週間かかるからです。学校では、世界の貧しい人たちについて学習したり募金活動をしたりしています。これからも、世界の平和を願って活動できる子どもたちを育てていきます。



岐阜県高等学校長協会
会長 丹羽 章(岐阜高等学校長)

県高等学校長協会は、岐阜県内の全ての高等学校及び特別支援学校の校長・副校長112名で組織されています。年に5回の校長会議を開き、様々な教育課題について協議や情報交換をしています。

教育の大前提は、児童生徒の安全・安心であり、その点において、まさにユニセフ協会の活動と協力して、未来を担う子供たちの教育環境の整備に力を尽くしてまいる所存です。



中日新聞岐阜支社
支社長 真能 秀久

記者としてニューヨークの国連本部を担当したことがあります。ユニセフのニュースも書きました。世界では、戦争や内戦で被害を受ける子供たちが絶えません。地域によっては、貧困による栄養不良や医薬品不足も深刻なままです。こうした現状や、岐阜県ユニセフ協会の活動を読者の皆さまに伝えたいと思います。



NHK岐阜放送局
局長 山内 雄敦

ユニセフの活動を継続していくため、様々な地球規模の課題を身近な問題から自分自身のこととして捉え、考え、行動できる人づくりが今求められています。この星の未来に向けて持続可能な社会をつくるため一人ひとりの小さな気付きから取り組んでいけるよう、今後も地元の放送局としてユニセフ活動を支援していく所存です。



岐阜県ユニセフ協会
事務局長 紅谷 昭代

小さいころは水たまりや暗い道、お化けが怖くて一人ではかけられなかった。結婚しても、やれ蜘蛛が怖くて洗濯物が干せない、親指ほどの鼠にも怯えて夜も眠れず。子を持つと、一緒にダンゴムシを捕獲し、アリやカエルの観察。いつの間にか成長していました。

今後とも岐阜県ユニセフ協会をよろしく願います。

ボランティアの願い!!



尾畑 裕巳さん

初めは、ガールスカウトの担当者として関わったのですが、事務局やボランティアの皆さんの真摯で、温かい雰囲気に魅かれてボランティア登録しました。私にできる事を誠実に、笑顔で取り組んでいきたいです。



蟹澤 保子さん

設立当初からのボランティアとして、「子どものたちの命と健康、権利を守るため」「世界中の子どもたちが笑顔でくらすように」をいつも願っています。いろいろな支援の在り方、「なにができる?」かを考えて、微力ながら活動が続けていけたらと思います。



野村 育子さん

自分の二人の子ども、また、仕事で日々接する子どもを見るにつけ、同じ地球に生まれながら大人の身勝手な争いや自然災害により食事すら満足できない子どもたちの姿に胸が痛みます。私の力は微力でも数多く集まれば大きな力になると信じて活動しています。



野田 裕子さん

子どもは生まれてくる時代も国も選ぶことはできません。同じ地球上に不幸にも戦禍や貧困に見舞われている子どもたちがいる事を心にとどめて、微力でも支援していきたいと思っています。



「夏休み子どもの広場」東日本大震災の被災地、岩手県の子どもたちにレクスパックをつくって送りました。

左から辻さん、島瀬さん、杉田さん、三木さん、近藤さん、都築さん

山本 玲子さん

小中学校の出前授業に参加させていただきました。日本の子ども達と、世界の子供達との現状を学び、思いを共有できたと感じられた時、充実した気持ちになりました。そして、子ども達の好奇心に大きな刺激を受けています。

辻 徳弘さん

自分が子どもの頃に感じた嫌なこと、嫌な思いを、今の子どもにはさせたくない。そんな思いで始めたボランティアですが、今の子どもたちには、今の問題に直面しているわけで、自分が今の子ども達の立場になってみて、そのイメージを的確にしていける必要があると感じました。

島瀬 和代さん

子育ての時代が終わる、孫の世話をする年代に入っています。私たちの世代は子どもの頃にユニセフからの援助を受けました。世界には紛争や、栄養不足や病気で亡くなる子どもの多いこと!「私に何かできることがあれば」と、活動しています。

杉田 照子さん

イオンタウン名西のイベント広場でユニセフのパネル展を開催していました。60代の男性が立ち寄られ、「ずーっと募金をしていて年金生活となり、ユニセフから送られた用紙を捨ててしまった。あんな募金用紙はあるかね?」と。青いジャンパーの私を見て声をかけてくださいました!

三木 富喜子さん
(コープあいちユニセフの会)

「エチオピアを旅して」の学習会に参加して。エチオピアについてはほとんど知りませんでしたが、今日詳しくお話が聞けるようになりました。資源の無い国に必要なのは人的資源だと思います。子どもたちの教育が充実することが望めます。

近藤 育子さん

どんなに貧しくても、笑顔私たちに忘れない素敵な子どもたちに、一つでも協力できることがあれば喜んで動ける私でありたいです。そして世界が戦争のない心の底からの笑みであふれる日が来る事を願っています。

都築 慶子さん
(コープあいちユニセフの会)

2月にコープぎふでアングラスタディツアーの報告をしたのが縁で、ボランティアすることになりました。愛知にはまだ協会が無く、岐阜でお手伝い出き、交流できることが嬉しくてたまいません。小さな力でも多くの方とつながって、子どもたちを支援していきたいと思っています。

活動報告：2014年1月～8月

開催日	会場	イベント名
1月22日	那加第2小学校	出前授業
1月27日	蘇原中学校	出前学習
1月29日	イオンタウン名西・イベント広場	ユニセフの日
2月5日	名古屋市立滝ノ水小学校	出前授業
2月22日	ふれあい福寿会館	子ども三世代交流フェスティバル
2月26日	イオンタウン名西・イベント広場	ユニセフの日
3月2日、4日	国際会議場 さらさーら	コープぎふ職員全員集会(募金・頒布活動)
3月26日	イオンタウン名西・イベント広場	ユニセフの日
4月5日	コープぎふ恵那店	周年祭(頒布活動)
4月11日	学校生協	インド女子教育指定募金学習会
4月16日	ユニセフ事務所	ボランティア学習会
4月29日	鷺山・おんさい広場	パネル展「ユニセフってなあに」・頒布活動
5月7日	イオンタウン名西・イベント広場	ユニセフの日
5月10日	ハートフルスクエアG	消費者ネットワーク岐阜・総会(頒布活動)
5月11日	各務原市民公園	各務原健康まつり(頒布活動)
5月16日	岐阜市立女子短期大学	出前学習会・講師
5月24日	コープぎふ尾崎店	周年祭(頒布活動)
5月31日・6月1日	星雲会館(下呂)	はぎわらの森の宝島 啓発・募金・頒布
6月2日	コープぎふ長良店	カードとギフトの頒布
6月5日	札幌サテライトキャンパス	日本ユニセフ協会・講師研修会2014
6月8日	コープぎふ芥見店	まちづくりの会バザーに出展
6月10日	岐阜グランドホテル	コープぎふ総代会・楽しく実感コーナー 啓発・募金・頒布
6月25日	コープぎふ本部	ユニセフ懇談会・インド指定募金出前学習
6月28日	コープぎふ長良店	長良店・周年祭(頒布活動)
7月2日	イオンタウン名西・イベント広場	ユニセフの日
7月5日	岡山県天神山文化プラザ	セタネットワーク学習会に参加
7月6日	千葉市文化センター3階アートホール	千葉県ユニセフ協会10周年記念式典に参加
7月14日～7月31日	岐阜信用金庫各務原駅前支店	パネル展「子どもたちにやさしい地球を残そう!」「ユニセフってなあに?」
7月20日	大垣市情報工房スインクホール	西濃ピースフェスティバル(募金・頒布活動)
7月22日～8月2日	ユニセフ事務所	夏休みこどもの広場
7月25日	コープぎふ多治見店	多治見・夏祭り(頒布活動)
8月4日	文化センター・展示室	インド女子教育指定募金学習・講演会
8月7日・8日	ふれあい福寿会館	ふれあいサマーフェスティバル 啓発・頒布活動
8月21日	ユニセフ事務所	愛知大学付属中生徒さん訪問「追求学習」
8月23日	JICA中部・海外青年協力隊	なごや地球ひろば・パネラー
8月25日	ユニセフ事務所	岐阜県ユニセフ協会・運営委員会
8月29日・30日	岐阜県中学校文化祭	(ユニセフ・パネルの貸出し)